

2022 年度

文学部「同志社大学育英奨学金」

「同志社大学育英奨学金」は、勉強意欲旺盛で、学術、文化、スポーツ活動等において優れた成果をあげ、かつ学業人物ともに優秀な学部学生に給付する奨学金です。文学部ではこの奨学金の受給者を、下記のとおり「学術」と「正課外」の2つの部門から選考して大学に推薦します。

今回、正課外部門について出願者を募集します。

[各種要項]

■学術部門

(学術A)

人数／8人〔英文学科：4人、英文学科以外（哲学・美芸・文化史・国文）：各1人〕

対象／1年次春学期から2年次春学期までの3セメスターの期間に50単位以上

修得した者で総合成績が上位の者。2年次生に限る。

(学術B)

人数／1人

対象／副専攻の登録者の中で、1年次春学期から3年次春学期までの5セメスターの期間に

副専攻の科目を16単位以上修得した者で、総合成績が上位の者。3年次生に限る。

■正課外部門

人数／4人を上限として推薦（全学で20名以内の採用）

対象／後掲の文学部「育英奨学生」募集のお知らせを参照のこと。

※ 出願時点で休学中の者は対象者としません。

※ 奨学金の給付は、部門を問わず、在学中1回に限る

文学部『育英奨学生』募集のお知らせ

■正課外部門

【給付額】 30万円（給付決定後、本年度中に支給）

【出願資格】 文学部に在籍する1～4年次生（正規学生）で、大学入学後、文化・芸術・スポーツ・社会貢献等に積極的に取り組み、その成果が著しい者。
以下の条件を全て満たしている者。自薦・他薦は問わない。

・ 下記の単位数を修得している者

当該年度春学期末までの在学 セメスター数（休学期間を除く）	修得単位数
0	出願不可
1	15単位以上
2	30単位以上
3	48単位以上
4	65単位以上
5	83単位以上
6	100単位以上
7	卒業見込であること

前年度秋学期および当年度春学期中に下記のいずれかの分野に該当する活動実績・功績をあげた者。（1年次生は入学後の実績に限る。）

なお、団体での活動の場合、その活動において中心的な役割を果たした者またはそれに準ずる者とする。

A.文化・芸術分野：次の①②③のいずれかに当てはまる者

- ① 国際規模の大会、コンクール等に日本を代表して出場した者
- ② 全国規模の大会、コンクール等に出場し、優れた成績を収めた者
- ③ 行政や民間の公益団体等の公的な機関から、社会的に優れていると高い評価を得た者

B.スポーツ分野：次の①または②に当てはまる者

- ① 国際規模の大会等に日本を代表して出場した者、またはそれに準ずる者
- ② 全国規模の大会等に出場し、優れた成績を収めた者、またはそれに準ずる者

C.社会活動分野：功績が次の①または②に当てはまる者

- ① 行政や民間の公益団体等の公的な機関から表彰を受け、社会的に高い評価を得た者
- ② 新聞・雑誌等に掲載される等、社会的に特に高い評価を得た者

- ※ 原則として、同一事由による複数年の申請は認めない。
- ※ 3年次編入の初年度は対象者としなない（前年度の本学での実績がないため）。
- ※ 出願時点で休学中の者は対象者としなない。
- ※ 授業料相当額の学内奨学金給付者は対象者としなない。
- ※ 奨学金の給付は、部門を問わず、在学中1回に限る。

【推薦人数】 4人を上限として推薦（全学で20名以内の採用）

【選考方法】 書類審査および面接

【応募期間】 2022年9月26日（月）～10月14日（金）

【提出書類】

- ① 「2022年度同志社大学育英奨学金願書」
- ② 活動の成果を客観的に証明できる書類（新聞記事、表彰状など）

※提出書類は返却できないので、写しを提出すること。

【提出場所】 今出川キャンパス 教務センター（文学部）良心館1階

【面接日】 2022年10月17日（月）～10月28日（金）【日時は調整のうえ指定】

【その他】

学術、正課外活動を通して、きわめて顕著な成果を残した奨学金推薦者を表彰することがある。
（「同志社大学文学部長賞」）

2022年6月

今出川キャンパス 教務センター（文学部）